

事務局より

3月末をもちまして2年度を無事終了することができました。皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

4月より3年目をスタートしております。今年度もバドミントンを通じて青少年の育成、そして「つながり」の場作りに精進してまいります。本年度もよろしくお願ひ致します。

先日ト杯、ユ杯を連日深夜まで観戦しました。今や日本は世界から目標とされる立場になったのです。日本のバドミントン界はいつまでも子どもだと思っていたのに、いつのまにか大人になっていたという感じがします。

たかが一塊のプレイヤーであれ、今や頂点に立ち目指される国の一員であることを自覚し、心は常に一流でありたいと思う今日この頃です。※ただ今ホームページリニューアル中です。皆様にはご迷惑をおかけしております。もうしばらくお待ち下さい。

常務理事兼事務局 高瀬麻美

■平成25年度事業報告、平成25年度定時総会報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日、活動2年目を終了しました。

平成26年5月31日に定時総会を開催し、前年度事業報告および今年度活動計画、予算について承認を得たことをご報告いたします。

Artful

池田輝 作品紹介 NO.5



出立 F200号 1972年

2590mm × 1940mm の大作である。これほどの作品を8畳スペースのアトリエで仕上げたことに驚く。スペース(器)に合わせて挑戦するサイズに上限を設けることなく、気持ちの向かうままに取り組んだのだろう。黒を積極的に使った頃の作品。現在菅平小中学校玄関ホールに展示されている。高原の黒土とよくマッチしている。

池田輝：洋画家 農民芸術家初代中村実の三男として長野県小県郡神川村（現上田市黒坪）に生まれる。叔父に中村直人を持ち、岡鹿之助洋画研究会で学ぶ。信州大学教育学部美術科卒 小学校教員から中学校教員となり、上田女子短期大学に勤める。春陽会会員、同会60周年記念展賞受賞 高瀬理事実父

Schedule

平成25年度主なイベント

1.アルファスクール	6/28	西武台千葉高校ホール
2.アルファアカデミー	10/18	西武台千葉高校ホール
3.アルファキャンプ	2/8	西武台千葉高校
4.アルファカップ	3/7	西武台千葉高校

※第2回アルファパートナーズカップは2015/5に行います

Information

会員募集！

一緒に楽しもう、つながりに参加したいという方ならいつでもどなたでも会員になれます。入会を希望される方は下記事項をご記入の上メール等にてご連絡下さい。折り返し事務局より入会のご案内をいたします。会員になると活動内容等が掲載された「ニューズレター(年3回発行予定)」を郵送いたします。

入会申込書記入内容

- ①ご住所
- ②お名前 (OB,OGの方は卒業年及び旧姓)
- ③連絡先 (電話番号及びメールアドレス)
- ④ご希望の会員種別 (下記参照) を明記の上事務局までご連絡下さい。

会員種別

- 一般協力会員
活動内容に賛同し、積極的に活動に参加希望される個人
- OB&OG協力会員
西武台千葉高校バドミントン部出身者
- 賛助会員
活動内容に賛同し、支援を希望される個人及び団体

入会申込書送付先

- E-mail : npobanet@jcom.home.ne.jp
- FAX : 04-7129-0678
- 郵送 : 千葉県野田市中里773-13

年会費(入会金はありません)

◇一般協力会員・OB&OG協力会員	3,000円
◇賛助会員 (個人)	一口 3,000円 (一口以上)
◇賛助会員 (団体)	10,000円 (一口以上)

会費納入方法

下記口座に振り込みお願いします。振込料はご負担下さい。

◆ゆうちょ銀行

- ゆうちょからの振込
記号10580 口座番号34219951
口座名義：特定非営利活動法人アルファバドミントンネットワーク

- 他の金融機関からの振込
店番058 口座番号3421995

◆ちばぎん 川間支店

- 口座番号 3513619
口座名義 特定非営利活動法人
アルファバドミントンネットワーク 理事 樋上照直

◆事務局手渡し

事務局までご連絡下さい。

【寄付のお願い】

私たちの活動は皆様のご寄付で支えられます。皆様からの寄付を随時受け付けております。寄付送金先は上記会費振込口座と同じです。ご寄付(送金)いただきましたら、その旨メール等にてご連絡いただければ幸いです。
E-mail : npobanet@jcom.home.ne.jp

なおご寄付いただきましたら、お名前をニューズレター等に掲載させていただきます。匿名を希望される場合はその旨ご連絡下さい。

ご寄付をいただいた方(2014/3~2014/5)
田中和弘 様(3月4月)・ OTOME 様・蒔田洋子 様(運営会員)
及川義明 様・岡戸陽子 様 (掲載はいただいた順)

問い合わせ・連絡先
事務局：〒773-13千葉県野田市中里
Tel04-7129-0678 npobanet@jcom.home.ne.jp
http://www.alphanet.com

Alpha Badminton Network News

ABN News

ABNニューズレター第5号 [2014年5月]

2014 NO.005
アルファバドミントンネットワーク

特定非営利活動法人
NPO Alpha Badminton Network
アルファバドミントンネットワーク
〒270-0237
千葉県野田市中里 773-13
TEL/FAX04(7129)0678
URL:http://www.alphanet.com



次世代の選手を育み、人と人をつなぐ

輝きの夏に向けてスタートダッシュ！

冬に鍛えた両足が春の大地を高々とホップしました。そして夏の輝きを目指してみんなでステップし、合わせた力でもいられない大きな夢へのジャンプが待っています。

高く、さらに遠くまで跳び、走れるようになった私たちは、このありがたい健康の恵みをじっくり味わいたいものです。

スポーツができる喜び、人と人がつながる幸せを皆さんと一緒に味わい、真夏の若人の輝きを鮮やかな色で描きましょう。

NPOアルファバドミントンネットワークは2014年「煌(きら)めく青春」

南関東インターハイを応援しています！

Topics 第2回アルファカップアルファ カップ

Result 春の大会結果

Column 白井 巧「あなたは誰のために生きてますか？」

Artful 池田輝作品集NO.5

Information 事務局より・入会のご案内

Schedule 大会・イベントのご案内

Player 梅野尾昌志選手 (ヨネックス株式会社)



Topics

第2回アルファカップ報告【2013 競技力向上事業】

■概要

□期日： 2014年3月8日(土)　8：00～17：00
□会場：西武台千葉高校第1、第2 体育館
□参加選手：14団体（135名）
□種目：団体戦（2複1単　4対戦）
中学生、高校生、大学生、実業団選手からなる14団体135名が参加しました。1チーム3人～6人の男女別団体戦形式（2複1単）で午前2対戦、午後2対戦行われました。

昨年の第1回アルファカップはダブルス個人戦形式で行いましたが、シングルスゲームの希望が多々あったことから、第2回は団体戦形式としました。男子は8面に16チーム、女子は6面に12チームとなるようチーム数調整しましたので、どのチームも待ち時間がなく、多い選手は10試合近くこなしました。第1対戦は本部が組合せを行いましたが、それ以降は対戦内容を検討の上、また参加チームの意向を考慮しながら組合せ調整しました。1対戦を90分に限定しましたが、ほとんどは時間内に3試合終え残り時間をオープン試合に回すことができました。運営、進行、そして昼食に参加賞として用意した「すいとん」の準備にいたるまで、ボランティアスタッフの協力を得て、無事大会を終了することができました。

遠方より参加された選手、引率の先生方、ボランティアの皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

閉式後の記念写真

■参加団体

慶應義塾大学・千葉大学
栃木県立宇都宮柏楊高校・宇都宮文星高校
茨城県立土浦第三高校・埼玉県立川口高校
神奈川県立厚木東高校・藤沢市立藤が丘中学校
足立区役所・西武台千葉中学・高校
ヨネックス・広島ガス・JA東葛

※終了後、関係者により開かれました懇親会も大いに盛り上がりました。

Column

「シリア難民ザータリキャンプとバドミントン」 白井 巧理事

バドミントンの戦績で特記する記録はないが、一人のバドミントンプレイヤーの社会貢献活動に関して特記する人物のことを紹介したいと思います。

私は、今年の3月12日～24日にかけて、中東のヨルダンを訪問しました。

目的は、鈴木雄太（27）さんの活動訪問をするためでした。鈴木さんは北海道出身のバドミントンプレイヤーで、2009年に西武台千葉バドミントン部にて青年海外協力隊の派遣前技術研修を受けました。その後鈴木さんは、2年間の予定で中東のシリアバドミントン協会に派遣され現地でコーチとして活動していました。ところが2011年3月15日、現在のシリア内戦の発端となる市民デモが現地地で始まりました。同年4月20日、日本政府からシリア在留邦人に対して国外退避勧告が出ました。鈴木さんは活動任期を短縮して帰国しました。その後鈴木さんは、大学に復学し卒業後は都内で会社員として働いていました。

シリアの状況は、皆さんも報道でご存知の通りです。内戦が始まり3年目に入っていますが、一向に解決の兆しが見えません。何百万人も一般市民が、難民としてシリア近隣国へ脱出せざるを得ない状況が今も続いています。

私がヨルダンの鈴木さんを訪ねた場所は、シリア南部の国境線からヨルダン側に12km南にある「シリア難民ザータリキャンプ」でした。ここには命がからがらシリアから逃れて来た10万人が暮らしています。キャンプというよりは町のような印象です。日本はこの事態に対して、これまで4億ドル（約360億円）を拠出金として国際社会に支払っています。

鈴木さんは、昨年9月に日本の会社を退職して再び青年海外協力隊に参加しました。ザータリキャンプ内には、国際機関（Save the Children）が用意した子供たちが集う施設があります。ここで鈴木さんは、スポーツ、図画工作、子供向け科学教室、日本文化紹介等幅広い活動を行っています。

このような活動が求められている理由は、キャンプ内人口の半数以上が子供たちですが安全な遊び場が少ないからです。キャンプ内は、援助物資を運搬するトラックがたくさん行き交っています。そのトラックの後ろに飛び乗って遊んでいる子供たちをあちこちで見かけます。

鈴木さんがこの活動に参加した理由は、シリアでバドミントンコーチをしていた時にシリア国内の多くの場所を指導巡回していました。鈴木さんは、2年近くもアラビア語で生活をしておりシリアの生活にも適応していました。この間にたくさんのバドミントンプレイヤー達に出会いました。鈴木さんにとってシリアの出来事は他人事には思えなくなっていたのです。鈴木さんがヨルダンへ行き、シリアの友人たちのお手伝いをすることは自然な判断でした。

シリア難民ザータリキャンプの鈴木さんが活動している施設には、バドミントンの用具一式も国際機関から支援されていました。しかし、ここには体育館がなくバドミントンをすることは容易ではありません。

鈴木さんは、週末にヨルダン国内数力所のバドミントンチームを訪ねて練習に参加しています。

私のヨルダン滞在中、鈴木さんは自宅があるマフラク市内（Mafraq）にある学校のバドミントン部を紹介してくれました。私は、中東ヨルダンの地方都市でもバドミントンがしっかり根付いていることを知りました。

今鈴木さんは、休暇を利用してトルコへ逃れたシリア時代のバドミントンプレイヤー達に会いに行っています。バドミントンプレイヤーも含めて10名のシリア時代の友人と再会できたそうです。

シリアの人々にとって、出口の見えない母国の状況は本当に心苦しいことです。

鈴木さんの活動任期は2014年9月上旬まで。ザータリキャンプは海外協力活動の中でも非常にタフな環境だと実感しました。しかし鈴木さんは、現場では誰とでも仲良く迷いなく活動を実施している姿が印象的でした。

世界には様々なバドミントンプレイヤーたちがいることを、シリア事情を通じて皆さんにお伝えさせていただきました。（文と写真：白井巧）

白井巧（左）とシリアバドミントンプレイヤー（右）の交流の様子

白井巧　しらいたくみ
ICU（国際基督教大学）他大学講師　元青年海外協力隊員、途上国へのバドミントン普及とそれを通じた青少年教育を目指す。
埼玉県越谷市出身、越谷市立栄進中学校－県立越谷南高校－東海大学－筑波大学大学院－現在に至る

白井巧（左）とシリアバドミントンプレイヤー（右）の交流の様子

Result

平成25年度第42回全国高等学校選抜バドミントン大会

日程：3/20－24
会場：松本市総合体育館・信州スカイパーク体育館
成績：
男子　学校対抗戦　ベスト16
個人戦　ダブルス　第3位　山崎・森（初）
学校対抗戦　初戦敗退
個人戦　シングルス　第3位　荒木（初）
ダブルス　ベスト16　桶田・片桐

評：全国選抜において初の個人戦入賞を果たした。男子ダブルス、山崎・森組は地元枠に入っていたことからスムーズにベスト4まで進めた。しかし、準決勝戦で対戦した今大会優勝の大阪柏原高校ペアには手も足も出ない状態だった。スマッシュのスピード、コース、角度、予見力すべてにおいて日本一との差を痛感することができた。一方女子シングルの荒木はまだ1年生ながら迫力の戦いを演じ、準決勝では世界チャンピオントラスの山口選手（福井県勝山高）と対戦した。差は「ミス」の数だと思ふ。どちらも同様にそれぞれのショットは完成しているが、「それをミス無く演じる」訓練がまだできていないということだろう。しかし、こちらは完全に「射程距離内」に入ってきている。学校対抗戦も男女とも健闘したが、男子はキャリアの差、女子はチーム力の差を感じた気がする。

日本のアルプスに囲まれた「水のまち」松本は食べるものもおいしく、「シャトルの飛び」以外は最高の地だった。

詳細：全国高体連バドミントン専門部サイト

平成26年第41回千葉県中学校バドミントン選手権大会

日程：5/3-4
会場：浦安市総合体育館
成績：
男子　団体戦　優勝
個人戦　シングルス　1位　相澤
ダブルス　2位　山崎・後藤
女子　団体戦　第3位

個人戦　シングルス　3位　栗原
ダブルス　3位　古橋・對馬
詳細：千葉県中体連連バドミントン専門部サイト

平成26年度関東大会千葉県予選会

日程：4/29-30
会場：千葉県総合運動公園圏体育館

男子：　優勝　（2年連続11回目）　25年連続関東大会出場
女子：　優勝　（16年連続17回目）　23年連続関東大会出場



■インターハイまでの高等学校大会情報

■大会名：平成26年度関東高等学校バドミントン大会
兼第60回記念関東高等学校バドミントン選手権大会
とき：6/6-8
ところ：6-7 男子：本庄総合体育館　女子：行田市総合体育館
8 男女：鴻巣市総合体育館
出場：　男女　学校対抗戦

■大会名：平成26年度千葉県高校総体バドミントン大会
兼全国高校総体バドミントン選手権大会予選会
とき：6/13-14・17
ところ：13（学校対抗）　男子：県総合体育館　女子：成田市体育館
14（ダブルス）　男子：君津体育館　女子：柏市沼南体育館
17（シングルス）　男子：県総合体育館　女子：成田市体育館
出場：　男女学校対抗戦　男女個人対抗戦（男6D7S　女6D10S）
※個人対抗戦はベスト4までインターハイに出場できます。

■大会名：平成26年度国民体育大会千葉県選手選考会
とき：6/29
ところ：四街道総合公園体育館
出場：　男女シングルス
※男子3名、女子3名が選ばれます。

桐野尾昌志選手（左）と桐野尾昌志選手（右）

Player

桐野尾 昌志選手　Toganoo Masashi（株）ヨネックス

■「バドミントンの神、桐野尾さん（当時YONEX監督）が西武台に来る！」一種の『非常事態』の西武台に、監督の後ろに、隠れようにも隠れられないくらい大きい、学ラン姿の昌志君が、「無理矢理」小さくなって立っていた。

■父親は「日本バドミントンの王様」、母親は世界に君臨した「バドミントンの女神」。その意味も知らないくらい無邪気で無欲の桐尾昌志選手は、2003年に入学してきた。桐野尾監督曰く「3年間こちらで『球拾い』させていただければそれでいいです。」入学式には母親の悦子さん（ちなみに小生の青春時代のバドミントンアイドル）が西武台に現れると「ピシピシやってください！」と思わず目が覚めるようなハッパをかけられた。

■無欲の昌志選手が入学後すぐに友達になったのが石川直樹選手（青山学院大→丸杉）だった。彼は東京下町超江戸っ子であるが、どういうわけかいつも損得計算高く用心深い。そしてこの二人が我が家に下宿した。家事などの仕事の押し付け合いもやっていたが、時にはエスカレートして「取っ組み合い」のケンカにもなった。練習はもちろん、体を動かすことが好きで、「遊び」は大好きだった。が、何より二人とも良く気が利いた。彼らの下宿人時代は、本になり、映画にもなるくらいのネタではあるが、ここでは割愛させていただく。詳しく知りたい場合は高瀬マ理事に聞くとよい。私個人としては、第1巻から大切にしていた『こち亀』をこの二人が共感し読破してくれたのがうれしかった。

■高2005年は本年同様『地元枠』に恵まれ、個人戦は4位まで出場できる。しかし、3位や4位では「ダメ」だと本人が肝に誓い、見事に2位で本

戦に駒を進めた。「高校生デビューの星ですね」などとずいぶん多くの方からお祝いと励ましの言葉をいただいた。言葉は簡単だが本人の努力は想像に絶する。ただいくら苦労してもさわかやかで元気だった。『バドミントンが好き』なのだろう。彼から見れば「ベテラン」の域に達し、会うたびに彼を小馬鹿にする石川選手の「連続脚揃（やゆ）攻撃」も今にして思えば昌志選手の「カンフル剤」になっていたのだろう。

■真夏の野田インターハイが始まる。「無欲の初心者高校生」は相変わらずただひたすら元気で、この期間は彼らにとって「村祭」同様、朝から晩まで楽しい日々だった。試合にはご両親が「セコンド」として参戦してくれた。あの長身で、その上「神様」「女神」がそばにいれば目立つわけで、大学の監督さんの目にも留まった。インドネシア留学を決めていた昌志選手は「バドミントンができるなら」と大学バドミントン界トップチームである日本大学法学部に進学を決めた。

■大学時代の苦労は私よりチームメイトから聞いた方がいいと思うが、私を知る彼の大学生活とは、試験前に「先生ココ、訳してくれませんか?」という、おそらく石川選手から学んだ「要領の良さ」を学ぶ場だった。■卒業後、ご両親が長年支え、共に歩んだ「ヨネックス」に入社した。この世界にいる人なら誰でもわかるように、そこでは体力はもとより、一筋縄ではいかない人とのお付き合い、やりとりができなければ生きてはゆけない。

■私は最近の彼を見て『いい仕事』に恵まれたとつくづく思っている。彼が大学を出てバドミントン界から離れば、彼の知ってるバドミントンは「西武台」であって「日本大学」だけである。もちろん母校や古い仲間を大事にしてくれるのは、ことに私のような立場のものにとってはこれ以上無い喜びである。しかしながら、血を吐くようなつらい思いをしながら全国を回っている彼が出会うのは「自分の知らないバドミントン」であり「自分の苦手な人との交わり」である。そして必ずやそれが『自分の世界』は広げていく。幸い彼の温和で優しく、何より気が利く性格は誰にでも好かれる。「西武台の卒業生でしょ、桐野尾君は？いい青年ですね。」と言われるとき、私は涙が出るほど素直にうれしい。

■お父様の桐野尾さんが2004年に私に真剣にこう言った。「トマス杯、ユーバー杯で日本を勝たせたいんですよ・・・。」10年後の昨晚、その願いの半分以上が叶った。対戦中の解説を含み桐野尾さんご夫妻にはいつも家族ぐるみで勉強させていただいている。私にとって『バドミントン』そして『世界』とのかすかにつながる唯一の「光の道しるべ」はこのお二人だ。そしてその未知の『世界』の扉に立つ『水先案内人』は息子である桐野尾昌志選手だと思っている。

■夢はこうした人たちによって支えられているんだと、眠い目をこすってTVの向こう側、インドのコートを眺めていた。　文責：高瀬 秀雄

桐野尾昌志：東京都葛飾区出身　葛飾区立水元中学校→西武台千葉高校（第18期生）→日本大学法学部→ヨネックス株式会社（現在に至る）

■アルファクラブのご案内

毎週水曜日、関宿総合公園体育館にて小学生（OB,OGのお子さん）と地元中学生が活動しています。子ども部にはOB,OGがコーチとして加わり一層賑やかになってきました。幼稚園児、小学校低学年の子供たちは羽を打ちながらにぎやかに時を過ごし、中高生は専門的技術を集中的にマスターしています。ご希望の方は事務局までどうぞ。

関宿総合公園体育館にて活動する小学生と中学生

ABNニューズについて
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
アルファバドミントンネットワークでは、活動報告誌「ABNニューズ」を年3回（5月、9月、2月）に発行し、会員間相互の情報共有を図っております。また、これらの活動を含みますホットな話題につきましては是非Webサイトをご利用ください。
<http://www.alphabandet.com>

関宿総合公園体育館にて活動する小学生と中学生